

# インド国立サラール・ジャング博物館所蔵 日本美術デジタル・アーカイブ



NEW *Buy Tickets Online*



SALAR  
JUNG  
MUSEUM

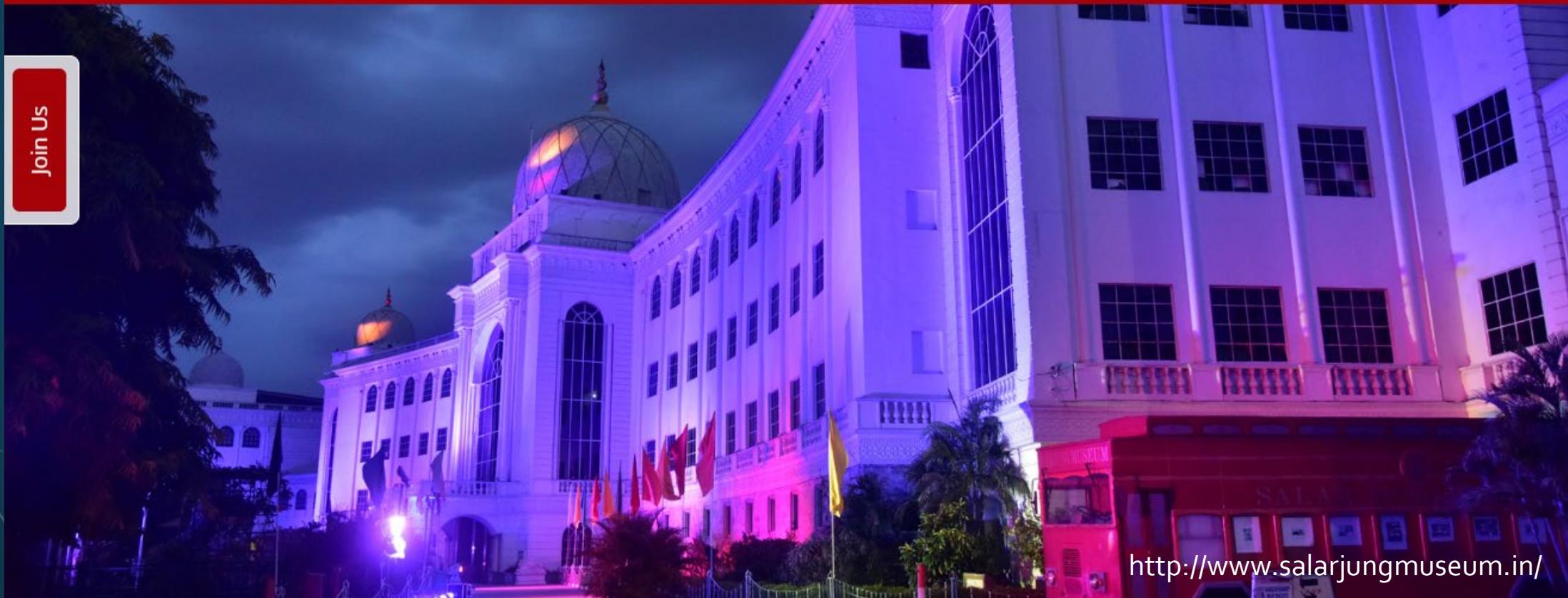


ENGLISH हिंदी తెలుగు



[HOME](#) | [VISIT](#) | [ABOUT](#) | [HISTORY OF SJM](#) | [COLLECTIONS](#) | [GALLERIES](#) | [LIBRARY](#) | [EVENTS](#) | [ADMINISTRATION](#)

Join Us



<http://www.salarjungmuseum.in/>

## A Brief History of the Salar Jung Family.



Nawab Mir Turab Ali Khan, Salar Jung I.



Nawab Mir Laiq Ali Khan, Salar Jung II.



Nawab Mir Yousuf Ali Khan, Salar Jung III.

博物館HPから転載 <http://www.salarjungmuseum.in/History-of-SJM.html>

## サラール・ジャング博物館

インドに3館ある国立博物館のひとつ

ニザーム王国の首相であったサラール・ジャング3世の死後、サラール・ジャング家の美術コレクションが国家に寄贈され、1951年に開館。

世界中から収集された美術品を所蔵しており、日本美術コレクションの総数は2000点を超える。



《瀑布図》刺繡・明治時代後期

博物館HPより転載  
<http://www.salarjungmuseum.in/Japanese.html>

## サラール・ジャング博物館 日本美術コレクション

2019年に本研究代表者（前崎）が事前調査

- ① 19世紀前半に収集された工芸品が多い
- ② 日本からの本格的な調査は初であることを確認

### 【研究目的】

1. 博物館・ハイデラバードの日本研究者・日本の近代工芸専門家が協力して博物館のコレクションの全容を解明する。
2. 館が所蔵する日本美術コレクションのデジタル化・データベース化を行う。

### 【研究意義】

1. 近代に日本から輸出された日本工芸の研究のほとんどは欧米のコレクションを中心に行われてきた。しかし、航路上にある国々でどのように受容されたかは手付かずの問題として残っている。
2. きわめて質の高い作品が所蔵されていることから、近代におけるアジアの日本美術コレクション研究の先駆けとなりえる。

## 研究メンバー

前崎信也

Shyam Arun

Tariq Sheikh

渡辺 芳郎

森野 彰人

松原 史

阿部 亜紀

京都女子大学生活造形学科 准教授

The English and Foreign Languages University, Assistant Professor

The English and Foreign Languages University, Assistant Professor

鹿児島大学 法文教育学域法文学系 教授

京都市立芸術大学美術学部工芸科（陶磁器専攻） 教授

北野天満宮北野文化研究所・室長兼宝物殿学芸員

福田美術館学芸員／京都女子大学大学院家政学研究科博士後期課程